

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2024/12/02

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ
整理番号 : 2207

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : ボディソープ
使用上の制限 : 推奨用途以外で使用しない

会社情報

供給者の会社名称: ライオンハイジーン株式会社
住所: 東京都台東区蔵前一丁目3番28号
担当部門: 企画開発部
電話番号: 03-3616-3159
FAX 番号: 03-3616-3208

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物 可燃性ガス エアゾール 酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性化学品 鈍性化爆発物	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない 区分に該当しない
健康有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入: 気体) 急性毒性(吸入: 蒸気) 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分 1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分 3 区分に該当しない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性) オゾン層への有害性	区分 3 区分に該当しない 分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害性 (GHS JP)	: 重篤な眼の損傷 水生生物に有害
注意書き (GHS JP)	: 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
安全対策	: 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
応急措置	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
廃棄	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
処理時の追加危険有害性	: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステルナトリウム	3.0	(7)-155	既存化学物質	68585-34-2
ポリオキシエチレンアルキル(C12-14)エーテル	1.8	(7)-97	既存化学物質	68439-50-9
ドデシル硫酸ナトリウム	1.2	(2)-1679	既存化学物質	151-21-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と思なされる。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 眼に重度の損傷を与える。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

- ：安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
- ：本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- ：物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具

- ：推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置

- ：漏出エリアを換気する。
- ：皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具

- ：適切な保護具を着用して作業する。
- ：詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- ：不要な職員を退避させる。
- ：安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

応急処置

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- ：環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- ：漏出物を回収すること。
- ：流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
- ：可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- ：吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- ：物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

浄化方法

その他の情報

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

- ：データなし
- ：作業所の十分な換気を確保する。
- ：皮膚、眼との接触を避ける。
- ：個人用保護具を着用する。
- ：データなし
- ：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ：製品取扱い後には必ず手を洗う。
- ：通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

接触回避

衛生対策

処理時の追加危険有害性

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

技術的対策

容器包装材料

- ：涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- ：データなし
- ：涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
- ：製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ：作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

- ：推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

- ：換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

- ：保護用手袋

眼の保護具

- ：密着型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

- ：適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル



安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 無色
臭い : 芳香臭
pH : 5 (原液、25°C)
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 1.03 (25°C)
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません(第7項参照)。
混触危険物質 : データなし
危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 分類できない
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入) : 分類できない(気体)
分類できない(蒸気)
分類できない(粉じん、ミスト)

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
急性毒性(経口)	ラットの LD50 値として、1,200 mg/kg (OECD TG 401) (SIDS (2009))、2,730 mg/kg (EHC 169 (1996)) との 2 件の報告がある。1 件が区分 4 に、1 件が区分外 (国連分類基準の区分 5) に該当するが、OECD TG 401 準拠であり、かつ LD50 値の最小値が該当する区分 4 とした。
急性毒性(経皮)	ウサギの LD50 値として、約 200 mg/kg との報告 (SIDS (2009)、EHC 169 (1996)) に基づき、区分 2 とした。旧分類のデータは希釈したもののデータであったため、純品の LD 値を採用し、区分を変更した。
急性毒性(吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口	1200 mg/kg
LD50 経皮	200 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ	
pH	5 (原液、25℃)

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
皮膚腐食性又は皮膚刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (OECD TG 404) において、本物質 (50%) を 0.5 mL 適用した結果、紅斑及び浮腫がみられ、観察期間中 (3 日間) 持続したとの報告や (ECETOC TR66 (1995))、中等度の刺激性がみられたとの報告がある (BUA 189 (1996))。また別の報告では、本物質を 4 時間、半閉塞適用した結果、中等度から強度の刺激性がみられたとの報告があるが回復性の記載はない (SIDS (2009))。以上より、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：重篤な眼の損傷

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ	
pH	5 (原液、25℃)

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) において、本物質 (25%水溶液) の適用により、非可逆的な影響がみられたとの報告がある (SIDS (2009))。また、別の眼刺激性試験の報告では本物質 (3%) の適用により、角膜混濁、結膜発赤、結膜浮腫などがみられたが 7 日目までに回復したとの報告がある (ECETOC TR48 (1992))。25%を適用した試験において、非可逆的な症状が観察されたことから、区分 1 とした。情報を追加し区分を見直した。

呼吸器感作性：分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性：分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
皮膚感作性	モルモットを用いたマキシマイゼーション試験において陰性の報告がある (ECETOC TR77 (1999)、BUA 189 (1996))。また、マウスを用いた LLNA 試験において、本物質適用による陽性結果が 2 報、陰性が 1 報報告されている (SIDS (2009))。ヒトについて感作性を示すとの報告はみあたらず、SIDS (2009) 及び ECETOC TR77 (1999) は、本物質は感作性の懸念がないと結論している (SIDS (2009)、ECETOC TR77 (1999))。以上より、区分外とした。

生殖細胞変異原性：分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により区分外が選択できなくなったため、分類できないとした。すなわち、in vivo では、マウスの優性致死試験、ラット骨髓細胞の小核試験、染色体異常試験で陰性である (SIDS (2009)、HSDB (Access on November 2015))。In vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2009)、NTP DB (Access on November 2015))。旧分類に記載された EHC の情報は確認できなかった。

発がん性：分類できない

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
発がん性	本物質自体の発がん性試験報告はない。しかし、EPA は C12～C15 のアルキル硫酸塩の 2 件の試験結果から、本物質は飼料中 1.5% (15,000 ppm) の濃度で投与しても発がん性のポテンシャルを示す証拠はないとの見解を示した (EPA Final Registration (2010))。また、SIDS には C12～C15 のアルキル硫酸ナトリウム (CAS 番号: 68890-70-0) を被験物質として、ラットを用いた 2 年間混餌投与試験が同一条件で 2 回行われ、2 回の試験のいずれも高用量の 15,000 ppm (約 1,125 mg/kg/day) では雌雄ともに体重増加抑制、摂餌/摂水量減少に加え、肝臓、腎臓等に非腫瘍性病変や血液毒性がみられているが、腫瘍発生率の増加はみられなかったと記述されている (SIDS (2009))。以上、類似物質の発がん性試験結果からは、本物質も経口経路では区分外相当と考えられるが、他経路での本物質関連の発がん性情報はなく、国際機関による既存分類結果もない。したがって、本項はデータ不足のため分類できない。

生殖毒性 : 分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
生殖毒性	ヒトの生殖影響に関する情報はない。実験動物では本物質を雄マウスに 10,000 ppm で 2 週間、又は 1,000 ppm で 6 週間混餌投与後、無処置雌と交配したが、受胎率に有害影響はみられず、著者らは親動物に有意な体重増加抑制を生じる用量まで投与しても、受胎能への有害影響は示されなかったと報告したとの記述がある (SIDS (2009))。妊娠ラットに本物質を妊娠 6～15 日に強制経口投与した 2 件の発生毒性試験では、母動物に死亡例が生じた 500 mg/kg/day (Wistar ラット)、及び 600 mg/kg/day (SD ラット) のいずれも胎児に有害影響はみられていない (SIDS (2009))。また、妊娠マウスの妊娠 6～15 日、妊娠ウサギの妊娠 6～18 日に最大 600 mg/kg/day を強制経口投与した試験でも、母動物に死亡例が発生した 600 mg/kg/day では総胚吸収/同腹胎児損失の頻度増加がみられたが、300 mg/kg/day では母動物にマウスで 1/20 例、ウサギで 1/13 例が死亡し、ウサギでは体重減少、下痢などがみられているが、胎児に有害影響はみられていない (SIDS (2009))。以上、マウスを用いた経口経路での受胎能への影響は雄マウス投与に対しては影響がないとの結果であるが、雌マウスに投与した場合の受胎能への影響については報告例がなく不明であり、よって本項はデータ不足のため分類できない。なお、EPA は本物質の生殖毒性については、類似物質である α -アルキルオレフィン硫酸塩をラットに経口投与した 2 世代生殖毒性試験結果に基づき、最高用量 285 mg/kg/day 相当量まで投与に関連した生殖毒性及び全身毒性影響を生じないとしてデータギャップを埋めた (EPA Final Registration (2010))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおけるデータはない。実験動物では、ラットの経口投与 (1,200 mg/kg bw、区分 2 相当) で下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、ウサギの経皮適用 (LD50=200 mg/kg、区分 1 相当) で振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められている (SIDS (2009))。以上より、本物質は中枢神経系に影響を与え、区分 1 (中枢神経系) とした。旧分類に記載された気道刺激性のデータは認められなかった。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに関する情報はない。実験動物では、ラットを用いた 4 週間混餌投与毒性試験において、区分 2 の用量である 0.5% (90 日換算: 76.2 mg/kg/day) 以上の投与群の雌で ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加、肝臓及び左側腎臓の重量増加がみられ、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。また、区分 2 の範囲を超える用量である 1% (152.4 mg/kg/day) 以上の投与群で尿円柱、尿細管上皮細胞の空胞変性、尿細管の PAS 染色陽性物質、糸球体の萎縮がみられている (EHC 169 (1996))。以上のように、肝臓に区分 2 の範囲で影響がみられた。したがって、区分 2 (肝臓) とした。なお、旧分類では、腎臓の所見を区分 2 の範囲内として分類を実施していたが、確認した結果、区分 2 の範囲を超えていたため分類結果が変更となった。

誤えん有害性 : 分類できない

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)

誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
--------	-----------------

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 水生生物に有害。
水生環境有害性 短期(急性)	: 水生生物に有害
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)

水生環境有害性 短期(急性)	甲殻類(アカルチア)の 96 時間 EC50/LC50 = 0.12 mg/L (SIDS, 2009)であることから、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	急速分解性があり(14 日間での BOD 分解度=85.0%、TOC 分解度=99.3%(J-CHECK 2016))、甲殻類(ネコゼミジンコ)の 7 日間 NOEC (繁殖) = 0.88 mg/L (SIDS, 2009)から、区分 3 とした。
EC50 - 甲殻類 [1]	0.12 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	0.88 mg/l

残留性・分解性

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

残留性・分解性	データなし
---------	-------

ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステルナトリウム (68585-34-2)

残留性・分解性	急速分解性あり
---------	---------

ポリオキシエチレンアルキル(C12-14)エーテル (68439-50-9)

残留性・分解性	急速分解性あり
---------	---------

ドデシル硫酸ナトリウム (151-21-3)

残留性・分解性	急速分解性あり
---------	---------

生体蓄積性

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壌中の移動性

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: 分類できない
-----------	----------

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

安全データシート

LION 介護 はぴケア 泡ボディソープ

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)
国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

陸上規制 : 消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。
海上規制情報 : 船舶法に定められている輸送方法に従う。
航空規制情報 : 航空法に定められている輸送方法に従う。
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

消防法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
ドデシル硫酸ナトリウム
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
ドデシル硫酸ナトリウム
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質 (安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧「eye」)
ドデシル硫酸ナトリウム
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)(管理番号 : 407) (1.8%)
ドデシル硫酸ナトリウム (管理番号 : 275) (1.2%)
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム (管理番号 : 409) (3.0%)

16. その他の情報

参考文献 : 原料メーカーSDS。
(独)製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」。

「記載内容の取扱い」
この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。尚、営業秘密である成分情報は非開示(濃度においては幅記載を含む)と記載している場合があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。